

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当 教員	対象年次	学期	曜日・校 時	開講期間
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002001	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002002	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002003	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002004	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002005	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002006	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002007	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)	和	E		熊野 晃三	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002008	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)	和	E		熊野 晃三	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002009	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002010	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002011	●スポーツ演習(球技)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度シラバス	教養教育-教										

ラバス（教養教育科目）	養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002012	●スポーツ演習(球技)	和	E		坂本圭司	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002013	●スポーツ演習(ニュースポーツ)	和	E		渡邊勝平	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002014	●スポーツ演習(ニュースポーツ)	和	E		渡邊勝平	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002015	●スポーツ演習(ソフトボール)	和	E		澁谷 顕一	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002016	●スポーツ演習(ソフトボール)	和	E		澁谷 顕一	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002017	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002018	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002019	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002020	●スポーツ演習(フライングディスク)	和	E		中垣内真樹	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002021	●スポーツ演習(フライングディスク)	和	E		中垣内真樹	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002022	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)	和	E		小原達朗	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002023	●スポーツ演習(トータルフィットネス)	和	E		管原正志	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002024	●スポーツ演習(バドミントン・卓球他)	和	E		山内正毅	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002025	●スポーツ演習(バドミントン・テニス)	和	E		飛奈卓郎	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポー	20130562002026	●スポーツ演習(ラケットゲー	和	E		西澤 昭	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～

目)	ツ科学科目		ム)								
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002027	●スポーツ演習(サッカー)	和	E		畑 孝幸	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002028	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002029	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002030	●スポーツ演習(球技スポーツ)	和	E		藤木 賢二	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002031	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・テット・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002032	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・テット・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002033	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプト・テット・スポーツ)	和	E		府内 勇希	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002034	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)	和	E		熊野 晃三	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002035	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)	和	E		熊野 晃三	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002036	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002037	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002038	●スポーツ演習(球技)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002039	●スポーツ演習(球技)	和	E		坂本 圭司	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2013年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002040	●スポーツ演習(ニュースポーツ)	和	E		渡邊 勝平	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～

2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002041	●スポーツ演習(ニュースポーツ)	和	E		渡邊勝平	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002042	●スポーツ演習(ソフトボール)	和	E		澁谷 顕一	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002043	●スポーツ演習(ソフトボール)	和	E		澁谷 顕一	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002044	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002045	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002046	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002047	●スポーツ演習(フライングディスク)	和	E		中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002048	●スポーツ演習(フライングディスク)	和	E		中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002049	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)	和	E		小原 達朗	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002050	●スポーツ演習(トータルフィットネス)	和	E		管原 正志	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002051	●スポーツ演習(バドミントン・卓球他)	和	E		山内 正毅	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002052	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)	和	E		田中志保	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002053	●スポーツ演習(ラケットゲーム)	和	E		西澤 昭	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目	20130562002054	●スポーツ演習(サッカー)	和	E		高橋 浩二	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002001	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月17日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月24日 ソフトボール ゲーム	
	4	5月1日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月8日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月15日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月22日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	5月29日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	6月5日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	6月12日	テニス	ゲーム（シングルス）
	11	6月19日	サッカー	運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月26日	サッカー	ゲーム
	13	7月3日	サッカー	ゲーム
	14	7月10日	サッカー	ゲーム
	15	7月17日	サッカー	ゲーム
	16	7月24日	定期試験	
キーワード				
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件（履修条件）				
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考（URL）				
備考（準備学習等）				





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002002	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M6、T7～T10		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月17日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月24日 ソフトボール ゲーム	
	4	5月1日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月8日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月15日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月22日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	5月29日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	6月5日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	6月12日	テニス	ゲーム（シングルス）
	11	6月19日	サッカー	運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月26日	サッカー	ゲーム
	13	7月3日	サッカー	ゲーム
	14	7月10日	サッカー	ゲーム
	15	7月17日	サッカー	ゲーム
	16	7月24日	定期試験	
キーワード				
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件（履修条件）				
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考（URL）				
備考（準備学習等）				





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002003	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1～M3、 T1・T2		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月17日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月24日 ソフトボール ゲーム	
	4	5月1日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月8日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月15日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月22日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	5月29日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	6月5日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	6月12日	テニス	ゲーム（シングルス）
	11	6月19日	サッカー	運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月26日	サッカー	ゲーム
	13	7月3日	サッカー	ゲーム
	14	7月10日	サッカー	ゲーム
	15	7月17日	サッカー	ゲーム
	16	7月24日	定期試験	
キーワード				
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。			
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。			
受講要件（履修条件）				
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考（URL）				
備考（準備学習等）				





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002004	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月24日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 1日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 8日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月15日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月22日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	5月29日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	6月 5日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月12日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月19日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	6月26日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 3日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月10日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月17日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月24日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002005	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月24日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 1日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 8日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月15日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月22日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	5月29日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	6月 5日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月12日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月19日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	6月26日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 3日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月10日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月17日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月24日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002006	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 1～3、T 1・T 2		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月24日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 1日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 8日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月15日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月22日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	5月29日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	6月 5日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月12日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月19日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	6月26日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 3日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月10日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月17日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月24日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002007	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業内容	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	4月16日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	4月23日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	4月30日 演習3 “ アンダーハンドパス、スパイク	
	5	5月7日 演習4 “ スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	
	6	5月14日 演習5 “ 異質グループによるゲーム②	

	7	5月21日	演習6	〃	異質グループによるゲーム③
	8	5月28日	演習7	〃	ソフトバレーボール
	9	6月4日	演習8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
	10	6月11日	演習9	〃	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	6月18日	演習10	〃	等質グループによるリーグ戦①
	12	6月25日	演習11	〃	等質グループによるリーグ戦②
	13	7月2日	演習12	〃	等質グループによるリーグ戦③
	14	7月9日	演習13	〃	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	7月16日	演習14	〃	等質グループによるリーグ戦②
	16	7月30日もしくは8月6日			定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化				
教科書・教材・参考書	教材　：　必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する				
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度　：　20％　　　　　実技試験　：　40％　　　　　筆記試験　：　40％ 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。				
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。				
本科目の位置づけ					
学習・教育目標					
備考（URL）					
備考（準備学習等）					





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002008	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目、(教職免許科目他)		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業内容	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本ルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	4月16日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	4月23日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	4月30日 演習3 “ アンダーハンドパス、スパイク	
	5	5月7日 演習4 “ スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	
	6	5月14日 演習5 “ 異質グループによるゲーム②	

	7	5月21日	演習6	〃	異質グループによるゲーム③
	8	5月28日	演習7	〃	ソフトバレーボール
	9	6月4日	演習8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
	10	6月11日	演習9	〃	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	6月18日	演習10	〃	等質グループによるリーグ戦①
	12	6月25日	演習11	〃	等質グループによるリーグ戦②
	13	7月2日	演習12	〃	等質グループによるリーグ戦③
	14	7月9日	演習13	〃	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	7月16日	演習14	〃	等質グループによるリーグ戦②
	16	7月30日もしくは8月6日			定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化				
教科書・教材・参考書	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する				
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度：20%実技試験：40%筆記試験：40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。				
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。				
本科目の位置づけ					
学習・教育目標					
備考（URL）					
備考（準備学習等）					





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002009	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 5～E 8		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、蹴るなどの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	ソフトボール、卓球ともに基礎技術を基に、応用技術を活かしたゲーム展開ができるようにする。		
	回	内容	
	1	4月 8日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	4月 15日 ソフトボールの基礎的技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	4月 22日 ソフトボールのゲーム	
	4	5月 13日 ソフトボールのゲーム	
	5	5月 20日 ソフトボールのゲーム	
	6	5月 27日 ソフトボールのゲーム	
	7	6月 3日 ソフトボールのゲーム	
	8	6月 10日 ソフトボールのゲーム	

	9	6月17日	サッカーの基礎的技術の習得（ドリブル、パス、シュート）
	10	6月24日	サッカーのゲーム
	11	7月 1日	サッカーのゲーム
	12	7月 8日	サッカーのゲーム
	13	7月22日	サッカーのゲーム
	14	7月23日	サッカーのゲーム
	15	7月29日	サッカーのゲーム
	16	8月 5日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002010	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 1～E 4		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、蹴るなどの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	ソフトボール、卓球ともに基礎技術を基に、応用技術を活かしたゲーム展開ができるようにする。		
	回	内容	
	1	4月 8日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	4月 15日 ソフトボールの基礎的技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	4月 22日 ソフトボールのゲーム	
	4	5月 13日 ソフトボールのゲーム	
	5	5月 20日 ソフトボールのゲーム	
	6	5月 27日 ソフトボールのゲーム	
	7	6月 3日 ソフトボールのゲーム	
	8	6月 10日 ソフトボールのゲーム	

	9	6月17日	サッカーの基礎的技術の習得（ドリブル、パス、シュート）
	10	6月24日	サッカーのゲーム
	11	7月 1日	サッカーのゲーム
	12	7月 8日	サッカーのゲーム
	13	7月22日	サッカーのゲーム
	14	7月23日	サッカーのゲーム
	15	7月29日	サッカーのゲーム
	16	8月 5日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002011	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」と「バスケットボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。（バスケットボール）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月 4日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	4月 11日 ソフトボールの基礎的技術の習得	
	3	4月 18日 ソフトボールのゲーム	
	4	4月 25日 ソフトボールのゲーム	
	5	5月 2日 ソフトボールのゲーム	
	6	5月 9日 ソフトボールのゲーム	
	7	5月 16日 サッカーの基礎的技術の習得	
	8	5月 23日 サッカーのゲーム	
	9	5月 30日 サッカーのゲーム	

	10	6月 6日	サッカーのゲーム
	11	6月13日	サッカーのゲーム
	12	6月20日	バスケットボールの基礎的技術の習得
	13	6月27日	バスケットボールのゲーム
	14	7月 4日	バスケットボールのゲーム
	15	7月11日	バスケットボールのゲーム
	16	7月25日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002012	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」と「バスケットボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。（バスケットボール）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月 4日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	4月 11日 ソフトボールの基礎的技術の習得	
	3	4月 18日 ソフトボールのゲーム	
	4	4月 25日 ソフトボールのゲーム	
	5	5月 2日 ソフトボールのゲーム	
	6	5月 9日 ソフトボールのゲーム	
	7	5月 16日 サッカーの基礎的技術の習得	
	8	5月 23日 サッカーのゲーム	
	9	5月 30日 サッカーのゲーム	

	10	6月 6日	サッカーのゲーム
	11	6月13日	サッカーのゲーム
	12	6月20日	バスケットボールの基礎的技術の習得
	13	6月27日	バスケットボールのゲーム
	14	7月 4日	バスケットボールのゲーム
	15	7月11日	バスケットボールのゲーム
	16	7月25日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002013	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業内容	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。		
	回	内容	
	1	4月4日 オリエンテーション…授業概要説明	
	2	4月11日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	3	4月18日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	4	4月25日 アルティメット…ゲーム	
	5	5月2日 アルティメット…ゲーム	
	6	5月9日 グラウンドゴルフ…ゲーム	
	7	5月16日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	
	8	5月23日 ラージボール卓球・・・ゲーム	
	9	5月30日 インディアカ…チーム分け、ゲーム	
	10	6月6日 インディアカ…ゲーム	

	11	6月13日	インディアカ・・・ゲーム
	12	6月20日	ソフトバレー・・・ゲーム
	13	6月27日	ソフトバレー・・・ゲーム
	14	7月4日	ミニテニス・・・ゲーム
	15	7月11日	ニュースポーツの考案
	16	7月25日	定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70%） 筆記試験（30%） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002014	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業内容	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。		
	回	内容	
	1	4月4日 オリエンテーション…授業概要説明	
	2	4月11日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	3	4月18日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	4	4月25日 アルティメット…ゲーム	
	5	5月2日 アルティメット…ゲーム	
	6	5月9日 グラウンドゴルフ…ゲーム	
	7	5月16日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	
	8	5月23日 ラージボール卓球・・・ゲーム	
	9	5月30日 インディアカ…チーム分け、ゲーム	
	10	6月6日 インディアカ…ゲーム	

	11	6月13日	インディアカ・・・ゲーム
	12	6月20日	ソフトバレー・・・ゲーム
	13	6月27日	ソフトバレー・・・ゲーム
	14	7月4日	ミニテニス・・・ゲーム
	15	7月11日	ニュースポーツの考案
	16	7月25日	定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70%） 筆記試験（30%） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002015	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール)		
編集担当教員	澁谷 顕一		
授業担当教員名(科目責任者)	澁谷 顕一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	澁谷 顕一		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	shibuya_kenichi@nias.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL	095-838-4489		
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間、長崎総合科学大学澁谷研究室		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ソフトボールを題材として、身体運動の心身への効果や実践方法を身につける。また、ソフトボールが持つ特性を理解し、打つ、投げる、捕るなどの基礎的な技術を身につけ、楽しくゲームが行えるようにする。		
授業到達目標	ボールを正しく投げ、捕球し、打つことができるようになる。チームの特性を活かして、ゲームができる戦術をチームメイトと検討できるようになる。卒業後も生涯スポーツとしてソフトボールを楽しむことができるように、ルールやマナー、基礎技術を学ぶことを目標とする。		
授業内容	ソフトボールの基礎技術を習得し、最終的にはソフトボールの戦術を理解し、ゲームを実践する。対象者としては、ソフトボールを楽しみたい人とする。ソフトボール経験、未経験は問わない。 授業形態（1回の時間内の代表例） 1. ウォーミングアップ、2. キャッチボール、3. トスバッティング（またはシートバッティング）・基礎技術の確認、4. ゲーム、5. 片づけ		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（授業の進め方、ねらい）	
	2	4月16日 ソフトボールの基本技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	4月23日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	4	4月30日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	5	5月7日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	6	5月14日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	7	5月21日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	

	8	5月28日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	9	6月4日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	10	6月11日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	11	6月18日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	12	6月25日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	13	7月2日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	14	7月9日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	15	7月16日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	16		
キーワード			
教科書・教材・参考書		教科書、参考書は使わない	
成績評価の方法・基準等		授業に対する「積極的な」参加態度50% 授業中の競技成績50% 授業中の課題に対する積極的な取組状況を評価する。成績評価にはゲーム中の打撃成績を用いる。欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002016	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール)		
編集担当教員	澁谷 顕一		
授業担当教員名(科目責任者)	澁谷 顕一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	澁谷 顕一		
科目分類	健・スポ科学科目、(教職免許科目他)		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	shibuya_kenichi@nias.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL	095-838-4489		
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間、長崎総合科学大学澁谷研究室		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ソフトボールを題材として、身体運動の心身への効果や実践方法を身につける。また、ソフトボールが持つ特性を理解し、打つ、投げる、捕るなどの基礎的な技術を身につけ、楽しくゲームが行えるようにする。		
授業到達目標	ボールを正しく投げ、捕球し、打つことができるようになる。チームの特性を活かして、ゲームができる戦術をチームメイトと検討できるようになる。卒業後も生涯スポーツとしてソフトボールを楽しむことができるように、ルールやマナー、基礎技術を学ぶことを目標とする。		
授業内容	ソフトボールの基礎技術を習得し、最終的にはソフトボールの戦術を理解し、ゲームを実践する。対象者としては、ソフトボールを楽しみたい人とする。ソフトボール経験、未経験は問わない。 授業形態（1回の時間内の代表例） 1. ウォーミングアップ、2. キャッチボール、3. トスバッティング（またはシートバッティング）・基礎技術の確認、4. ゲーム、5. 片づけ		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（授業の進め方、ねらい）	
	2	4月16日 ソフトボールの基本技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	4月23日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	4	4月30日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	5	5月7日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	6	5月14日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	7	5月21日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	

	8	5月28日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	9	6月4日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	10	6月11日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	11	6月18日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	12	6月25日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	13	7月2日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	14	7月9日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	15	7月16日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	16		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書、参考書は使わない		
成績評価の方法・基準等	授業に対する「積極的な」参加態度50% 授業中の競技成績50% 授業中の課題に対する積極的な取組状況を評価する。成績評価にはゲーム中の打撃成績を用いる。欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002017	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約30分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2～9回目の授業では、約15分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約30分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に1曲覚えて踊れることを目標とする。16回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。10～14回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。15回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	4月 4日 オリエンテーション	
	2	4月11日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	4月18日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	4月25日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	5月 2日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	5月 9日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	5月16日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	5月23日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	5月30日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	6月 6日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	6月13日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	6月20日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	6月27日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	7月 4日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	7月11日	グループ作品発表会
	16	7月25日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書等はいない。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極性50％ 創作作品25％ 定期試験25％ 授業中の積極的な態度および技能の習得状況、創作作品の完成度・独創性を総合的に判断し評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002018	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約30分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2～9回目の授業では、約15分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約30分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に1曲覚えて踊れることを目標とする。16回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。10～14回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。15回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	4月 4日 オリエンテーション	
	2	4月11日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	4月18日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	4月25日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	5月 2日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	5月 9日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	5月16日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	5月23日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	5月30日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	6月 6日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	6月13日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	6月20日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	6月27日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	7月 4日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	7月11日	グループ作品発表会
	16	7月25日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書等はいない。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極性50％ 創作作品25％ 定期試験25％ 授業中の積極的な態度および技能の習得状況、創作作品の完成度・独創性を総合的に判断し評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002019	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約30分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2～9回目の授業では、約15分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約30分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に1曲覚えて踊れることを目標とする。16回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。10～14回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。15回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	4月24日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	5月 1日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	5月 8日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	5月15日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	5月22日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	5月29日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	6月 5日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	6月12日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	6月19日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	6月26日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	7月 3日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	7月10日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	7月17日	グループ作品発表会
	16	7月24日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書等はいない。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極性50％ 創作作品25％ 定期試験25％ 授業中の積極的な態度および技能の習得状況、創作作品の完成度・独創性を総合的に判断し評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002020	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5～8		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	4月15日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー	
	3	4月22日 基本スローの習得 バックハンスロー	
	4	5月13日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	5月20日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	5月27日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	
	7	6月3日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得	

授業内容	8	6月10日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	6月17日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	6月24日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	7月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	7月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	7月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	7月23日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	7月29日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002021	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～4		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	4月15日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー	
	3	4月22日 基本スローの習得 バックハンスロー	
	4	5月13日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	5月20日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	5月27日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	
	7	6月3日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得	

授業内容	8	6月10日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	6月17日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	6月24日 ライニングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	7月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	7月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	7月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	7月23日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	7月29日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002022	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)		
編集担当教員	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者)	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小原 達朗		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1,2,3,T 1,2		
担当教員Eメールアドレス	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部252室		
担当教員TEL	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー	水曜日17:00～17:45		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またスポーツの文化、技術を習得し、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。		
授業到達目標	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。		
授業内容	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成	
	2	4月17日 ストレッチ法、バスケット（プレマッチ）、チーム再編成	
	3	4月24日 ボディエクササイズ法、バスケット（リーグ戦1回目）	
	4	5月 1日 ウェイトコントロールの理論、バスケット（リーグ戦2回目）	
	5	5月 8日 ダイエットと運動の理論、バスケット（リーグ戦3回目）	
	6	5月15日 エアロビクスの理論と実践、バスケット（リーグ戦4回目）	
	7	5月22日 バスケット（リーグ戦5回目）	
	8	5月29日 バスケット（リーグ戦6回目）	
	9	6月 5日 ウェイトトレーニングの理論と実践、卓球（プレマッチ）	
	10	6月12日 リラクゼーション法の理論と実践、卓球（リーグ戦1回目）	

	11	6月19日 ウォーキングの方法と実践、卓球（リーグ戦2回目）
	12	6月26日 ジョギングの方法と実践、卓球（リーグ戦3回目）
	13	7月 3日 ストレスと運動についての理解、卓球（リーグ戦4回目）
	14	7月10日 健康と体力についての理解、卓球（リーグ戦5回目 9
	15	7月17日 卓球（ダブルス）
	16	
キーワード	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法	
教科書・教材・参考書	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	1.授業に対する積極的な参加度（配点60%） 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること（配点20%） 3.平常の活動の評価（配点20%） 4.欠席が3回以上の者は失格とする	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	健全な社会人の育成	
学習・教育目標	健全な社会人の育成	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002023	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(トータルフィットネス)		
編集担当教員	管原 正志		
授業担当教員名(科目責任者)	管原 正志		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	管原 正志		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	sugahara@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部108研究室		
担当教員TEL	095-819-2355		
担当教員オフィスアワー	12:00-12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	トータルスポーツは、陸上運動、ニュースポーツ、ボール運動、ラケットスポーツ等の異なるタイプの運動を通して自己の健康づくりの実施方法を習得する。具体的には健康と身体運動の関係を理解した上で、健康運動の実践方法（有酸素運動・筋力トレーニング・ストレッチなど）について実習し、効果的な運動の実践方法を習得する。		
授業到達目標	身体運動が生活習慣病予防をはじめとして健康の保持増進に役立つことを理解するだけでなく、運動の実践を通じて自己管理能力を身につける。		
授業内容	授業内容(概要)：授業では、スポーツ演習、健康の概念、有酸素運動の理論、運動処方、熱中症の予防、運動量の計測演習について行う。		
	回	内容	
	1	4月10日:オリエンテーション（種目決定など）	
	2	4月17日:演習「カロリーカウンターの使用説明、バドミントン」	
	3	4月24日:演習「バドミントン」	
	4	5月 1日:演習「バドミントン」	
	5	5月 8日:演習「バドミントン」	
	6	5月15日:演習「硬式テニス」	
	7	5月22日:演習「硬式テニス」	
	8	5月29日:演習「グランド ゴルフ」	
	9	6月 5日:演習「バード ゴルフ」	
	10	6月12日:演習「卓球」	

	11	6月19日:演習「卓球」
	12	6月26日:演習「卓球」
	13	7月 3日:演習「学内または学外のウォーキング・ジョギングコースを設定使用」
	14	7月10日:講義「有酸素運動の理解、運動処方」
	15	7月17日:講義「スポーツ活動時の熱中症予防」、「総合評価」
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	必要に応じて、関係する資料を配付する。また、器具等は時間毎に貸与する。	
成績評価の方法・基準等	授業レポートによる理解度（20%）、授業への参加状況（40%）、課題レポート(40%)を総合的に評価する。但し、全期間の欠席が3回以上の場合には失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002024	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・卓球他)		
編集担当教員	山内 正毅		
授業担当教員名(科目責任者)	山内 正毅		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山内 正毅		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館 1 階109		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜3校時		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクセーションにかかわる運動を教材として運動・スポーツ及びからだや健康に関する教養教育を行う。		
授業到達目標	・教材として取り上げた運動・スポーツの技能や自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数（HR）、エネルギー消費量等の関係を自覚する。		
	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動、スポーツの関わり方、実践方法などをバドミントン、卓球、ジョギング等の教材を用いて演習する。		
	回	内容	
	1	4月 9日 オリエンテーション	
	2	4月16日 体づくりの方法とリラクゼーションの基本的な実践方法を学ぶ（屋内）	
	3	4月23日 バドミントン（演習、実技）（屋内） 技能チェック バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ	
	4	4月30日 バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ	

授業内容	5	5月 7日 バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	6	5月14日 バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	7	5月21日 バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター 使用） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	8	5月28日 ウォーキングとジョギング（屋内） （カロリーカウンター 使用） ウォーキング、ジョギング、ランニングと運動強度を変えてエネルギー消費を測定する。運動量とエネルギー消費、HRと主観的運動強度の関係を各自のデータを用いて学ぶ
	9	6月 4日 卓球（屋内） （カロリーカウンター） 技能チェック 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	10	6月11日 卓球（屋内） （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	11	6月18日 卓球（屋内） （カロリーカウンター 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	12	6月25日 卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	13	7月 2日 卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	14	7月 9日 卓球（屋内） 技能チェック （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	15	7月16日 授業のまとめ（総括試合）、レポート（解説） 測定した自分のデータをもとに、各自の身体能力を知るとともに運動強度とからだの関係について考える。 以上のスポーツ種目、実施の順序、場所は、天候や施設の都合で変更することもあるので注意すること。
	16	
キーワード	バドミントン, 卓球, 主観的運動強度, QOL	
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲（50%）、技術の上達（10%）、理解度（最後にレポートの提出、40%）など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。	
受講要件（履修条件）	服装等，ルールに従い，クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し，欠席しないようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。	
本科目の位置づけ	全学教育学生便覧参照	
学習・教育目標		

備考（URL）	
備考（準備学習等）	運動用服装、体育館シューズの使用を厳守すること。ジーパン等の普段着の服装は認めないので必ず着替えること。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002025	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・テニス)		
編集担当教員	飛奈 卓郎		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 卓郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 卓郎		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 1～E 4		
担当教員Eメールアドレス	tobitaku@sun.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バドミントンとテニスという手軽に行うことができる種目を題材として、基本技術をルールを学び、戦略を考え、スポーツを楽しむ能力を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標	バドミントンとテニスのゲーム楽しむための技術を身につけるとともに、ルールを理解して自分たちでゲームを進めることができるようになる。仲間とコミュニケーションを取りながらゲーム進行・運営ができるようになる。		
授業内容	バドミントン・テストともに基礎技術を修得し、ルールを理解することでゲーム展開と運営ができるようにする。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション	
	2	4月15日 バドミントンのルールと基本的な技術を学ぶ	
	3	4月22日 バドミントンのゲーム（シングルス）	
	4	5月13日 バドミントンのゲーム（シングルス）	
	5	5月20日 バドミントンのゲーム（シングルス）	
	6	5月27日 バドミントンのゲーム（ダブルス）	
	7	6月3日 バドミントンのゲーム（ダブルス）	
	8	6月10日 バドミントンのゲーム（ダブルス）	
	9	6月17日 テニスのルールと基本的な技術を学ぶ	
	10	6月24日 テニスのゲーム（シングルス）	

	11	7月1日　テニスのゲーム（シングルス）
	12	7月8日　テニスのゲーム（シングルス）
	13	7月22日　テニスのゲーム（ダブルス）
	14	7月23日　テニスのゲーム（ダブルス）
	15	7月29日　テニスのゲーム（ダブルス）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	必要に応じて関係する資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加態度（70％）、定期試験（30％）。　欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002026	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ラケットゲーム)		
編集担当教員	西澤 昭		
授業担当教員名(科目責任者)	西澤 昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西澤 昭		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5～E8		
担当教員Eメールアドレス	nishisho@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館552		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜12:00～14:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。運動の身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業方法（学習指導法）	授業方法：本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。		
授業到達目標	各自の動機と判断により、自分で運動の強度、頻度、内容を理解、自覚し、自分の責任でスポーツに参加できる能力をやしなう。		
授業内容	授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容（概要） これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション（クラス分けなど）	
	2	4月15日 テニスのルールとたのしみ方	
	3	4月22日 テニスのゲーム(1)	
	4	5月13日 テニスのゲーム(2)	
	5	5月20日 テニスのゲーム(3)	
	6	5月27日 テニスのゲーム(4)	

	7	6月3日	バドミントンのたのしみ方
	8	6月10日	バドミントンのルールとゲーム
	9	6月17日	バドミントンのゲーム(1)
	10	6月24日	バドミントンのゲーム(2)
	11	7月1日	バドミントンのゲーム(3)
	12	7月8日	卓球のルールとたのしみ方
	13	7月22日	卓球のゲーム(1)
	14	7月23日	卓球のゲーム(2)
	15	7月29日	卓球のゲーム(3)
	16		
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ		
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件（履修条件）	特になし		
本科目の位置づけ	特に広い意味での生涯学習の領域で役立つように目標は設定されている。		
学習・教育目標	自分の意思でこれらのスポーツを実施できる態度を身につけてほしい。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002027	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(サッカー)		
編集担当教員	畑 孝幸		
授業担当教員名(科目責任者)	畑 孝幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	畑 孝幸		
科目分類	健・スポ科学科目、(教職免許科目他)		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部・本館 1 1 0 研究室		
担当教員TEL	2 3 5 8		
担当教員オフィスアワー	随時（予約による）		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。このクラスではサッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	このクラスでは、サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成する。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。		
授業到達目標	自己の課題を発見し練習計画表を作成することができる。サッカーのルールや戦術を理解し、チームや個々の技能の特性を活かして上手にゲームができる戦術を考えることができる。チームメイトと討論し、自らの課題を発見し、計画表を作成し、ゲームを実践することができる。		
	毎時間グループごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって、サッカーの基礎的技術を習得し、ルールや戦術の理解を深める。受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価を受けたあと、次回の立案者に渡される。定期試験は16回目に行う予定である。		
	回	内容	
	1	4月 9日 クラス分け，軽度の運動	
	2	4月16日 グルーピング，授業展開方法の説明	
	3	4月23日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	4	4月30日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	5	5月 7日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	6	5月14日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	

授業内容	7	5月21日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	8	5月28日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	9	6月 4日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	10	6月11日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	11	6月18日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	12	6月25日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	13	7月 2日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	14	7月 9日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	15	7月16日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	16	7月30日	試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な取り組み10%、計画表25%、個人技能・集団技能（練習やゲームの内容をチーム毎に評価する）25%、筆記試験40%の割合で総合的に評価し、60%以上の評点を合格とする。欠席が3回以上の者、試験を受験しない者は失格とする。		
受講要件（履修条件）	基本的に全回出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002028	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月2日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月9日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月16日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月23日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月30日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月6日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月13日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	11月20日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	11月27日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	1 2月4日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	1 2月1 1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	1 2月1 8日 サッカー ゲーム
	13	1 2月2 5日 サッカー ゲーム
	14	1月8日 サッカー ゲーム
	15	1月1 5日 サッカー ゲーム
	16	1月2 9日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（U R L）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002029	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月2日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月9日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月16日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月23日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月30日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月6日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月13日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	11月20日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	11月27日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	1 2月4日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	1 2月1 1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	1 2月1 8日 サッカー ゲーム
	13	1 2月2 5日 サッカー ゲーム
	14	1月8日 サッカー ゲーム
	15	1月1 5日 サッカー ゲーム
	16	1月2 9日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002030	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 ² F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月2日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月9日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月16日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月23日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月30日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月6日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月13日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	
	8	11月20日 テニス ゲーム（ダブルス）	
	9	11月27日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）	

	10	1 2月4日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	1 2月1 1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	1 2月1 8日 サッカー ゲーム
	13	1 2月2 5日 サッカー ゲーム
	14	1月8日 サッカー ゲーム
	15	1月1 5日 サッカー ゲーム
	16	1月2 9日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002031	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 2 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 9 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	1 0 月 1 6 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	1 0 月 2 3 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	1 0 月 3 0 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	1 1 月 6 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	1 1 月 1 3 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	1 1 月 2 0 日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	1 1月27日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	1 2月 4日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	1 2月11日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	1 2月18日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	1 2月25日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1 月 8日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1 月15日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1 月29日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002032	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 2 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 9 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	1 0 月 1 6 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	1 0 月 2 3 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	1 0 月 3 0 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	1 1 月 6 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	1 1 月 1 3 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	1 1 月 2 0 日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	1 1月 2 7日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	1 2月 4日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	1 2月 1 1日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	1 2月 1 8日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	1 2月 2 5日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1 月 8日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1 月 1 5日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1 月 2 9日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002033	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール, バドミントン, アダプテッド・スポーツ)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 1～3、T 1・T 2		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせでシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	10月 2日 オリエンテーション	
	2	10月 9日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	10月16日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	10月23日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	10月30日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	11月 6日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	11月13日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	8	11月20日 バレーボール：ゲームと技能評価	

	9	1 1月27日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	1 2月 4日	バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	1 2月11日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	1 2月18日	バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	1 2月25日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1 月 8日	アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1 月15日	バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1 月29日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30% 欠席が3回以上の場合は失格となる。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002034	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12：20～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業内容	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本ルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション （コース別演習のコース決定など）	
	2	1 0 月 8 日 演習 1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	1 0 月 1 5 日 演習 2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	1 0 月 2 2 日 演習 3 " アンダーハンドパス、スパイク	
	5	1 0 月 2 9 日 演習 4 " スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	
	6	1 1 月 5 日 演習 5 " 異質グループによるゲーム②	

	7	1 1 月 1 2 日	演習 6	〃	異質グループによるゲーム③
	8	1 1 月 1 9 日	演習 7	〃	ソフトバレーボール
	9	1 1 月 2 6 日	演習 8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
	10	1 2 月 3 日	演習 9	〃	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	1 2 月 1 0 日	演習 10	〃	等質グループによるリーグ戦①
	12	1 2 月 1 7 日	演習 11	〃	等質グループによるリーグ戦②
	13	1 2 月 2 4 日	演習 12	〃	等質グループによるリーグ戦③
	14	1 月 7 日	演習 13	〃	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	1 月 1 4 日	演習 14	〃	等質グループによるリーグ戦②
	16	1 月 2 8 日	もしくは 2 月 4 日		定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化				
教科書・教材・参考書	教材 ： 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する				
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度 ： 2 0 % 実技試験 ： 4 0 % 筆記試験 ： 4 0 % 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。				
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。				
本科目の位置づけ					
学習・教育目標					
備考（URL）					
備考（準備学習等）					





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002035	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業内容	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本ルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション （コース別演習のコース決定など）	
	2	1 0 月 8 日 演習 1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	1 0 月 1 5 日 演習 2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	1 0 月 2 2 日 演習 3 " アンダーハンドパス、スパイク	
	5	1 0 月 2 9 日 演習 4 " スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	
	6	1 1 月 5 日 演習 5 " 異質グループによるゲーム②	

	7	1 1 月 1 2 日	演習 6	〃	異質グループによるゲーム③
	8	1 1 月 1 9 日	演習 7	〃	ソフトバレーボール
	9	1 1 月 2 6 日	演習 8	(バドミントン)	解説と基本ストローク
	10	1 2 月 3 日	演習 9	〃	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	1 2 月 1 0 日	演習 10	〃	等質グループによるリーグ戦①
	12	1 2 月 1 7 日	演習 11	〃	等質グループによるリーグ戦②
	13	1 2 月 2 4 日	演習 12	〃	等質グループによるリーグ戦③
	14	1 月 7 日	演習 13	〃	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	1 月 1 4 日	演習 14	〃	等質グループによるリーグ戦②
	16	1 月 2 8 日	もしくは 2 月 4 日		定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化				
教科書・教材・参考書	教材 ： 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する				
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度 ： 2 0 % 実技試験 ： 4 0 % 筆記試験 ： 4 0 % 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。				
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。				
本科目の位置づけ					
学習・教育目標					
備考（URL）					
備考（準備学習等）					





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002036	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 5～E 8		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2F 体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、蹴るなどの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	ソフトボール、卓球ともに基礎技術を基に、応用技術を活かしたゲーム展開ができるようになる。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	10月 7日 ソフトボールの基礎的技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	10月21日 ソフトボールのゲーム	
	4	10月28日 ソフトボールのゲーム	
	5	11月11日 ソフトボールのゲーム	
	6	11月18日 ソフトボールのゲーム	
	7	11月25日 ソフトボールのゲーム	
	8	12月 2日 ソフトボールのゲーム	

	9	1 2 月 9 日	サッカーの基礎的技術の習得（ドリブル、パス、シュート）
	10	1 2 月 1 6 日	サッカーのゲーム
	11	1 月 6 日	サッカーのゲーム
	12	1 月 2 0 日	サッカーのゲーム
	13	1 月 2 1 日	サッカーのゲーム
	14	1 月 2 7 日	サッカーのゲーム
	15	2 月 3 日	サッカーのゲーム
	16	2 月 1 0 日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002037	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール・サッカー)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 1～E 4		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2F 体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、蹴るなどの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	ソフトボール、卓球ともに基礎技術を基に、応用技術を活かしたゲーム展開ができるようになる。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	10月 7日 ソフトボールの基礎的技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	10月21日 ソフトボールのゲーム	
	4	10月28日 ソフトボールのゲーム	
	5	11月11日 ソフトボールのゲーム	
	6	11月18日 ソフトボールのゲーム	
	7	11月25日 ソフトボールのゲーム	
	8	12月 2日 ソフトボールのゲーム	

	9	1 2 月 9 日	サッカーの基礎的技術の習得（ドリブル、パス、シュート）
	10	1 2 月 1 6 日	サッカーのゲーム
	11	1 月 6 日	サッカーのゲーム
	12	1 月 2 0 日	サッカーのゲーム
	13	1 月 2 1 日	サッカーのゲーム
	14	1 月 2 7 日	サッカーのゲーム
	15	2 月 3 日	サッカーのゲーム
	16	2 月 1 0 日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002038	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」と「バスケットボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。（バスケットボール）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月 3日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	10月10日 ソフトボールの基礎的技術の習得	
	3	10月17日 ソフトボールのゲーム	
	4	10月24日 ソフトボールのゲーム	
	5	10月31日 ソフトボールのゲーム	
	6	11月 7日 ソフトボールのゲーム	
	7	11月14日 サッカーの基礎的技術の習得	
	8	11月21日 サッカーのゲーム	
	9	11月28日 サッカーのゲーム	

	10	1 2 月 5 日	サッカーのゲーム
	11	1 2 月 1 2 日	サッカーのゲーム
	12	1 2 月 1 9 日	バスケットボールの基礎的技術の習得
	13	1 2 月 2 6 日	バスケットボールのゲーム
	14	1 月 9 日	バスケットボールのゲーム
	15	1 月 1 6 日	バスケットボールのゲーム
	16	1 月 3 0 日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002039	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技)		
編集担当教員	坂本 圭司		
授業担当教員名(科目責任者)	坂本 圭司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	坂本 圭司		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	k-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	「ソフトボール」と「サッカー」と「バスケットボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。		
授業到達目標	ボールを正確に投げることができる。打つことができる。（ソフトボール）パスを正確にできる。ドリブルすることができる。シュートを正確に打てる（サッカー）パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。（バスケットボール）ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月 3日 オリエンテーション（授業の進め方）	
	2	10月10日 ソフトボールの基礎的技術の習得	
	3	10月17日 ソフトボールのゲーム	
	4	10月24日 ソフトボールのゲーム	
	5	10月31日 ソフトボールのゲーム	
	6	11月 7日 ソフトボールのゲーム	
	7	11月14日 サッカーの基礎的技術の習得	
	8	11月21日 サッカーのゲーム	
	9	11月28日 サッカーのゲーム	

	10	1 2 月 5 日	サッカーのゲーム
	11	1 2 月 1 2 日	サッカーのゲーム
	12	1 2 月 1 9 日	バスケットボールの基礎的技術の習得
	13	1 2 月 2 6 日	バスケットボールのゲーム
	14	1 月 9 日	バスケットボールのゲーム
	15	1 月 1 6 日	バスケットボールのゲーム
	16	1 月 3 0 日	技能テスト
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加（集団での行動や話し合いへの積極的な参加） 50% 授業への取り組み方（授業での意欲・態度） 20% 技能テスト（基礎的技術） 30% 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002040	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	choshu-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業内容	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。		
	回	内容	
	1	10月3日 オリエンテーション…授業概要説明	
	2	10月10日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	3	10月17日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	4	10月24日 アルティメット…ゲーム	
	5	10月31日 アルティメット…ゲーム	
	6	11月7日 グラウンドゴルフ…ゲーム	
	7	11月14日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	
	8	11月21日 ラージボール卓球・・・ゲーム	
	9	5月30日 インディアカ…チーム分け、ゲーム	
	10	11月28日 インディアカ…ゲーム	

	11	1 2月5日 インディアカ・・・ゲーム
	12	1 2月1 2日 ソフトバレー・・・ゲーム
	13	1 2月1 9日 ソフトバレー・・・ゲーム
	14	1月9日 ミニテニス・・・ゲーム
	15	1月1 6日 ニュースポーツの考案
	16	1月3 0日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70%） 筆記試験（30%） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002041	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業内容	これまでほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。		
	回	内容	
	1	10月3日 オリエンテーション…授業概要説明	
	2	10月10日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	3	10月17日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	
	4	10月24日 アルティメット…ゲーム	
	5	10月31日 アルティメット…ゲーム	
	6	11月7日 グラウンドゴルフ…ゲーム	
	7	11月14日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	
	8	11月21日 ラージボール卓球・・・ゲーム	
	9	5月30日 インディアカ…チーム分け、ゲーム	
	10	11月28日 インディアカ…ゲーム	

	11	1 2月5日 インディアカ・・・ゲーム
	12	1 2月1 2日 ソフトバレー・・・ゲーム
	13	1 2月1 9日 ソフトバレー・・・ゲーム
	14	1月9日 ミニテニス・・・ゲーム
	15	1月1 6日 ニュースポーツの考案
	16	1月3 0日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70%） 筆記試験（30%） 全期間の欠席が ³ 回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002042	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール)		
編集担当教員	澁谷 顕一		
授業担当教員名(科目責任者)	澁谷 顕一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	澁谷 顕一		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	shibuya_kenichi@nias.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL	095-838-4489		
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間、長崎総合科学大学澁谷研究室		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ソフトボールを題材として、身体運動の心身への効果や実践方法を身につける。また、ソフトボールが持つ特性を理解し、打つ、投げる、捕るなどの基礎的な技術を身につけ、楽しくゲームが行えるようにする。		
授業到達目標	ボールを正しく投げ、捕球し、打つことができるようになる。チームの特性を活かして、ゲームができる戦術をチームメイトと検討できるようになる。卒業後も生涯スポーツとしてソフトボールを楽しむことができるように、ルールやマナー、基礎技術を学ぶことを目標とする。		
授業内容	ソフトボールの基礎技術を習得し、最終的にはソフトボールの戦術を理解し、ゲームを実践する。対象者としては、ソフトボールを楽しみたい人とする。ソフトボール経験、未経験は問わない。 授業形態（1回の時間内の代表例） 1. ウォーミングアップ、2. キャッチボール、3. トスバッティング（またはシートバッティング）・基礎技術の確認、4. ゲーム、5. 片づけ		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション（授業の進め方、ねらい）	
	2	10月8日 ソフトボールの基本技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	10月15日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	4	10月22日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	5	10月29日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	6	11月5日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	7	11月12日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	

	8	11月19日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	9	11月26日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	10	12月3日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	11	12月10日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	12	12月17日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	13	12月24日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	14	1月7日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	15	1月14日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	16		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書、参考書は使わない		
成績評価の方法・基準等	授業に対する「積極的な」参加態度50% 授業中の競技成績50% 授業中の課題に対する積極的な取組状況を評価する。成績評価にはゲーム中の打撃成績を用いる。欠席が ³ 回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002043	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ソフトボール)		
編集担当教員	澁谷 顕一		
授業担当教員名(科目責任者)	澁谷 顕一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	澁谷 顕一		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	shibuya_kenichi@nias.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 F 体育教官室		
担当教員TEL	095-838-4489		
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間、長崎総合科学大学澁谷研究室		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ソフトボールを題材として、身体運動の心身への効果や実践方法を身につける。また、ソフトボールが持つ特性を理解し、打つ、投げる、捕るなどの基礎的な技術を身につけ、楽しくゲームが行えるようにする。		
授業到達目標	ボールを正しく投げ、捕球し、打つことができるようになる。チームの特性を活かして、ゲームができる戦術をチームメイトと検討できるようになる。卒業後も生涯スポーツとしてソフトボールを楽しむことができるように、ルールやマナー、基礎技術を学ぶことを目標とする。		
授業内容	ソフトボールの基礎技術を習得し、最終的にはソフトボールの戦術を理解し、ゲームを実践する。対象者としては、ソフトボールを楽しみたい人とする。ソフトボール経験、未経験は問わない。 授業形態（1回の時間内の代表例） 1. ウォーミングアップ、2. キャッチボール、3. トスバッティング（またはシートバッティング）・基礎技術の確認、4. ゲーム、5. 片づけ		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション（授業の進め方、ねらい）	
	2	10月8日 ソフトボールの基本技術の習得（投げる、捕る、打つ）	
	3	10月15日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	4	10月22日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	5	10月29日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	6	11月5日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	
	7	11月12日 ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム	

	8	11月19日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	9	11月26日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	10	12月3日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	11	12月10日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	12	12月17日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	13	12月24日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	14	1月7日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	15	1月14日	ソフトボールの基本技術の習得＋ゲーム
	16		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書、参考書は使わない		
成績評価の方法・基準等	授業に対する「積極的な」参加態度50% 授業中の競技成績50% 授業中の課題に対する積極的な取組状況を評価する。成績評価にはゲーム中の打撃成績を用いる。欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002044	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約30分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2～9回目の授業では、約15分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約30分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に1曲覚えて踊れることを目標とする。16回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。10～14回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。15回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	10月 3日 オリエンテーション	
	2	10月10日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	10月17日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	10月24日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	10月31日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	1 1 月 7 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	1 1 月 1 4 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	1 1 月 2 1 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	1 1 月 2 8 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	1 2 月 5 日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	1 2 月 1 2 日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	1 2 月 1 9 日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	1 2 月 2 6 日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	1 月 9 日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	1 月 1 6 日	グループ作品発表会
	16	1 月 3 0 日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002045	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 4		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約30分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2～9回目の授業では、約15分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約30分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に1曲覚えて踊れることを目標とする。16回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。10～14回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。15回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	10月 3日 オリエンテーション	
	2	10月10日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	10月17日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	10月24日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	10月31日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	1 1 月 7 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	1 1 月 1 4 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	1 1 月 2 1 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	1 1 月 2 8 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	1 2 月 5 日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	1 2 月 1 2 日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	1 2 月 1 9 日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	1 2 月 2 6 日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	1 月 9 日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	1 月 1 6 日	グループ作品発表会
	16	1 月 3 0 日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002046	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階体育教室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12：30～12：50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約 3 0 分間は、音楽に合わせてながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2 ～ 9 回目の授業では、約 1 5 分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約 3 0 分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に 1 曲覚えて踊れることを目標とする。1 6 回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。1 0 ～ 1 4 回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。1 5 回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	1 0 月 2 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 9 日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	1 0 月 1 6 日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	1 0 月 2 3 日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	1 0 月 3 0 日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	1 1 月 0 6 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	1 1 月 1 3 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	1 1 月 2 0 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	1 1 月 2 7 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	1 2 月 0 4 日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	1 2 月 1 1 日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	1 2 月 1 8 日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	1 2 月 2 5 日	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	1 月 8 日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	1 月 1 5 日	グループ作品発表会
	16	1 月 2 9 日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002047	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5～8		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	10月7日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	3	10月21日 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	4	10月28日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	11月11日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	11月18日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	
	7	11月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得	

授業内容	8	12月2日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	12月9日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	12月16日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	1月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	1月20日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	1月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	1月27日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	2月3日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002048	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～4		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	10月7日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー	
	3	10月21日 基本スローの習得 バックハンスロー	
	4	10月28日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	11月11日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	11月18日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	
	7	11月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得	

授業内容	8	12月2日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	12月9日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	12月16日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	1月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	1月20日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	1月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	1月27日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	2月3日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002049	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)		
編集担当教員	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者)	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小原 達朗		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1,2,3, T 1,2		
担当教員Eメールアドレス	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部252室		
担当教員TEL	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー	水曜日17:00～17:45		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またスポーツの文化、技術を習得し、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。		
授業到達目標	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。		
授業内容	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	1 0月 2日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成	
	2	1 0月 9日 ストレッチ法、バスケット（プレマッチ）、チーム再編成	
	3	1 0月 1 6日 ボディエクササイズ法、バスケット（リーグ戦1回目）	
	4	1 0月 2 3日 ウェイトコントロールの理論、バスケット（リーグ戦2回目）	
	5	1 0月 3 0日 ダイエットと運動の理論、バスケット（リーグ戦3回目）	
	6	1 1月 6日 エアロビクスの理論と実践、バスケット（リーグ戦4回目）	
	7	1 1月 1 3日 バスケット（リーグ戦5回目）	
	8	1 1月 2 0日 バスケット（リーグ戦6回目）	
	9	1 1月 2 7日 ウェイトトレーニングの理論と実践、卓球（プレマッチ）	
	10	1 2月 4日 リラクゼーション法の理論と実践、卓球（リーグ戦1回目）	

	11	1 2月11日 ウオーキングの方法と実践、卓球（リーグ戦2回目）
	12	1 2月18日 ジョギングの方法と実践、卓球（リーグ戦3回目）
	13	1 2月25日 ストレスと運動についての理解、卓球（リーグ戦4回目）
	14	1月 8日 健康と体力についての理解、卓球（リーグ戦5回目 9
	15	1月15日 卓球（ダブルス）
	16	
キーワード	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法	
教科書・教材・参考書	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	1.授業に対する積極的な参加度（配点60％） 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること（配点20％） 3.平常の活動の評価（配点20％） 4.欠席が3回以上の者は失格とする	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	健全な社会人の育成	
学習・教育目標	健全な社会人の育成	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002050	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(トータルフィットネス)		
編集担当教員	管原 正志		
授業担当教員名(科目責任者)	管原 正志		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	管原 正志		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	sugahara@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部108研究室		
担当教員TEL	095-819-2355		
担当教員オフィスアワー	12:00-12:50		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	トータルスポーツは、陸上運動、ニュースポーツ、ボール運動、ラケットスポーツ等の異なるタイプの運動を通して自己の健康づくりの実施方法を習得する。具体的には健康と身体運動の関係を理解した上で、健康運動の実践方法（有酸素運動・筋力トレーニング・ストレッチなど）について実習し、効果的な運動の実践方法を習得する。		
授業到達目標	身体運動が生活習慣病予防をはじめとして健康の保持増進に役立つことを理解するだけでなく、運動の実践を通じて自己管理能力を身につける。		
授業内容	授業内容(概要)：授業では、スポーツ演習、健康の概念、有酸素運動の理論、運動処方、熱中症の予防、運動量の計測演習について行う。		
	回	内容	
	1	10月 2日:オリエンテーション（種目決定など）	
	2	10月 9日:演習「カロリーカウンターの使用説明、バドミントン」	
	3	10月16日:演習「バドミントン」	
	4	10月23日:演習「バドミントン」	
	5	10月30日:演習「バドミントン」	
	6	11月 6日:演習「硬式テニス」	
	7	11月13日:演習「硬式テニス」	
	8	11月20日:演習「グラウンド ゴルフ」	
	9	11月27日:演習「バード ゴルフ」	
	10	12月 4日:演習「卓球」	

	11	12月11日:演習「卓球」
	12	12月18日:演習「卓球」
	13	12月25日:演習「学内または学外のウォーキング・ジョギングコースを設定使用」
	14	1月 8日:講義「有酸素運動の理解、運動処方」
	15	1月15日:講義「スポーツ活動時の熱中症予防」、「総合評価」
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	必要に応じて、関係する資料を配付する。また、器具等は時間毎に貸与する。	
成績評価の方法・基準等	授業レポートによる理解度（20%）、授業への参加状況（40%）、課題レポート(40%)を総合的に評価する。但し、全期間の欠席が3回以上の場合には失格となる。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002051	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・卓球他)		
編集担当教員	山内 正毅		
授業担当教員名(科目責任者)	山内 正毅		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山内 正毅		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館 1 階109		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜3校時		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクゼーションにかかわる運動を教材として運動・スポーツ及びからだや健康に関する教養教育を行う。		
授業到達目標	・教材として取り上げた運動・スポーツの技能や自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数（HR）、エネルギー消費量等の関係を自覚する。		
	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動、スポーツの関わり方、実践方法などをバドミントン、卓球、ジョギング等の教材を用いて演習する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 8 日 体づくりの方法とリラクゼーションの基本的な実践方法を学ぶ（屋内）	
	3	1 0 月 1 5 日 バドミントン（演習、実技）（屋内） 技能チェック バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ	
	4	1 0 月 2 2 日 バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運	

授業内容		動強度の関係を学ぶ
	5	10月29日 バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	6	11月 5日 バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	7	11月12日 バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター 使用） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	8	11月19日 ウォーキングとジョギング（屋内） （カロリーカウンター 使用） ウォーキング、ジョギング、ランニングと運動強度を変えてエネルギー消費を測定する。運動量とエネルギー消費、HRと主観的運動強度の関係を各自のデータを用いて学ぶ
	9	11月26日 卓球（屋内） （カロリーカウンター） 技能チェック 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	10	12月 3日 卓球（屋内） （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	11	12月10日 卓球（屋内） （カロリーカウンター 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	12	12月17日 卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	13	12月24日 卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	14	1月 7日 卓球（屋内） 技能チェック （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	15	1月14日 授業のまとめ（総括試合）、レポート（解説） 測定した自分のデータをもとに、各自の身体能力を知るとともに運動強度とからだの関係について考える。 以上のスポーツ種目、実施の順序、場所は、天候や施設の都合で変更することもあるので注意すること。
	16	
キーワード	バドミントン, 卓球, 主観的運動強度, QOL	
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲（50%）、技術の上達（10%）、理解度（最後にレポートの提出、40%）など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。	
受講要件（履修条件）	服装等，ルールに従い，クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し，欠席しないようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。	
本科目の位置づけ	全学教育学生便覧参照	

学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	運動用服装、体育館シューズの使用を厳守すること。ジーパン等の普段着の服装は認めないので必ず着替えること。冬季の寒さ対策は各自すること。





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002052	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス・エクササイズ)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 1 ～E 4		
担当教員Eメールアドレス	tanakakepc@ngs2.cncm.ne.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	月曜日 14：00～14：30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	毎授業始めに行うエクササイズを通して、柔軟性、筋力アップを図ると共に、ダンス（ヒップホップ・ジャズダンス等）の基本テクニックを習得する。また授業後半では、振付を覚えて踊るなど表現する楽しさを味わう。		
授業到達目標	ダンスを通して体を動かす楽しさや心地よさ、そして体力の向上を実感できるようにすると共に、最終的には、グループに分かれ習得したテクニックを組み合わせる小作品を創作し、発表できるようにする。		
授業内容	毎時はじめ約 3 0 分間は、音楽に合わせながら固定のエクササイズを行い、柔軟性や筋力、調整力等の向上を図る。2 ～ 9 回目の授業では、約 1 5 分間、基本テクニックの練習を行い、残りの時間（約 3 0 分間）で、振付を覚えダンスを踊る。この振付は、毎時間継続するものであり、最終的に 1 曲覚えて踊れることを目標とする。1 6 回目の定期試験では、このダンスを評価の対象とする。1 0 ～ 1 4 回目の授業では、エクササイズの後、グループに分かれ、今まで学んできた基本テクニックを活用しながら個々に作品創作を行う。1 5 回目の授業で、グループ作品発表会を行う。		
	回	内容	
	1	9 月 3 0 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 7 日 エクササイズの解説①、基本テクニックの習得（ダウン・アップ等）、振付①	
	3	1 0 月 2 1 日 エクササイズの解説②、基本テクニックの習得（サイドステップ等）、振付②	
	4	1 0 月 2 8 日 エクササイズ、基本テクニックの習得（ウエーブ等）、振付③	
	5	1 1 月 1 1 日 エクササイズ、基本テクニックの習得（アイソレーション等）、振付④	

	6	1 1 月 1 8 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ターン等）、振付⑤
	7	1 1 月 2 5 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（クラブステップ等）、振付⑥
	8	1 2 月 2 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ムーンウォーク等）、振付⑦
	9	1 2 月 9 日	エクササイズ、基本テクニックの習得（ジャンプ・アップロック等）、振付⑧
	10	1 2 月 1 6 日	エクササイズ、グループ分け、作品創作①
	11	1 月 6 日	エクササイズ、グループ作品創作②
	12	1 月 2 0 日	エクササイズ、グループ作品創作③
	13	1 月 2 1 日【火】	エクササイズ、グループ作品創作④
	14	1 月 2 7 日	エクササイズ、グループ作品創作⑤
	15	2 月 3 日	グループ作品発表会
	16	2 月 1 0 日	定期試験
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件（履修条件）			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002053	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ラケットゲーム)		
編集担当教員	西澤 昭		
授業担当教員名(科目責任者)	西澤 昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西澤 昭		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5～E8		
担当教員Eメールアドレス	nishisho@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館552		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜12:00～14:30		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。運動の身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。		
授業方法（学習指導法）	授業方法：本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。		
授業到達目標	各自の動機と判断により、自分で運動の強度、頻度、内容を理解、自覚し、自分の責任でスポーツに参加できる能力をやしなう。		
授業内容	授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容（概要） これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（クラス分けなど）	
	2	10月7日 テニスのルールとたのしみ方	
	3	10月21日 テニスのゲーム(1)	
	4	10月28日 テニスのゲーム(2)	
	5	11月11日 テニスのゲーム(3)	
	6	11月18日 テニスのゲーム(4)	

	7	11月25日	バドミントンのたのしみ方
	8	12月2日	バドミントンのルールとゲーム
	9	12月9日	バドミントンのゲーム(1)
	10	12月16日	バドミントンのゲーム(2)
	11	1月6日	バドミントンのゲーム(3)
	12	1月20日	卓球のルールとたのしみ方
	13	1月21日	卓球のゲーム(1)
	14	1月27日	卓球のゲーム(2)
	15	2月3日	卓球のゲーム(3)
	16		
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ		
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件（履修条件）	特になし		
本科目の位置づけ	特に広い意味での生涯学習の領域で役立つように目標は設定されている。		
学習・教育目標	自分の意思でこれらのスポーツを実施できる態度を身につけてほしい。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）			





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20130562002054	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(サッカー)		
編集担当教員	高橋 浩二		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 浩二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部・本館 1 1 0 研究室		
担当教員TEL	2 3 5 8		
担当教員オフィスアワー	随時（予約による）		
授業のねらい	身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。このクラスではサッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	このクラスでは、サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成する。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。		
授業到達目標	自己の課題を発見し練習計画表を作成することができる。サッカーのルールや戦術を理解し、チームや個々の技能の特性を活かして上手にゲームができる戦術を考えることができる。チームメイトと討論し、自らの課題を発見し、計画表を作成し、ゲームを実践することができる。		
	毎時間グループごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって、サッカーの基礎的技術を習得し、ルールや戦術の理解を深める。受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価を受けたあと、次回の立案者に渡される。定期試験は16回目に行う予定である。		
	回	内容	
	1	10月 1日 クラス分け、軽度の運動	
	2	10月 8日 グループニング、授業展開方法の説明	
	3	10月15日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	4	10月22日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	5	10月29日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	
	6	11月 5日 グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	

授業内容	7	11月12日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	8	11月19日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	9	11月26日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	10	12月 3日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	11	12月10日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	12	12月17日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	13	12月24日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	14	1月 7日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	15	1月14日	グループ学習（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）
	16	1月28日	試験
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な取り組み10%、計画表25%、個人技能・集団技能（練習やゲームの内容をチーム毎に評価する）25%、筆記試験40%の割合で総合的に評価し、60%以上の評点を合格とする。欠席が3回以上の者、試験を受験しない者は失格とする。		
受講要件（履修条件）	基本的に全回出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考（URL）			
備考（準備学習等）			

